

テーマ 「児童生徒の学びをつなぐ授業づくり」～学習指導要領の確実な実施と単元評価の充実～

クラスシートプラン (代表授業者用)

学級名 小学部3年1・2組

授業日	7月12日(水) 3校時	教科名・段階等	【単元計画】(全8h)			
教科等名	図画工作科	図画工作科	活動内容	知・技	思・判・表	学・人
単元(題材名)	「粘土でおみせやさんごっこ」	2段階 A表現	(1) 団子やさんになろう ～丸をつくる～ (2h)	○	○	
単元(題材)の目標(単元・題材を通しての児童生徒の目指す姿)			(2) ラーメンやさんになろう ～細長い形をつくる～ (2h)	○	○	
(1) 粘土で食べ物の形をつくる活動を通して、形の違いに気付くことができる。(知識) 粘土を使って、形(食べ物)をつくることできる。(技能) (2) 形を基に、自分のイメージをもちながら、粘土や、感じたこと、想像したこと、見たこと から表したい食べ物を思い付くことができる。(思考力・判断力・表現力等) (3) 粘土でつくりだす喜びを感じながら、進んで粘土で表現する学習に取り組もうとすること ができる。(学びに向かう力・人間性等)			(3) アイスやさんになろう ～組み合わせせてつくろう～(2h)	○	○	
□育む資質・能力の育成に向けた「 <u>しかけ</u> 」 (主体的な学び) □児童の好きな食べ物を提示する。 □つくるものの見通しやイメージがもちやすいように、見本を提示する。 □手の動かし方のイメージがもちやすいように、「ころころ」や「によるによる」のようなキ ーワードを示す。 □食べ物の種類に合った容器を準備し、自由に使えるようにして、児童のイメージが広がるよ うにする。			(4) 食べ物屋さんになろう 本時(1/2h)		○	○
(対話的な学び) □つくったものを通して、教師や友達とやり取りをする場面を設定する。 □児童がつくったものをモニターに映し、自分が頑張ったところや友達への感想を伝え合う。						
(深い学び) □児童がつくりたいものを自分なりに考えたり、選んだりする場面を設定する。 □食べ物の形に着目しながら、児童がつくりたいものを考えることができるような言葉掛けを 行う。						
◎本時の目標(学びの履歴を踏まえた各教科等の指導目標)			○自立活動の視点を踏まえた「配慮・手立て」 ※ 対象児童生徒1名抽出			
「知識及び技能」 ◎		「思考力・判断力・表現力等」 ◎形を基に、自分のイメージをもちながら、食べ物 の写真やイラストを見て、つくりたい食べ物を思い付 くことができる。	「主体的に学習に取り組む態度」 ◎粘土でつくりだす喜びを感じながら、進んで好 きな食べ物を粘土で表現する学習に取り組もうと している。			
○手順表や工程表を示し、見通しをもって活動に取り組めるようにする。(心理的な安定) ○つくりたいものを考えることができるような言葉掛けを行い、意欲的に活動に取り組めるようにする。(人間関係の形成) ○発表の場面を設定し、称賛する機会をつくることで、制作意欲を高められるようにする。(コミュニケーション) ○離席した場合は、児童が自己調整をしていると受け止め、気持ちが落ち着いた頃に着席を促すようにする。(心理的な安定)						

P

D

